



一年間の運動と組織拡大の成果を確認しさらに前進しよう！

新幹線地本新春旗開き開催！



■地本伊藤委員長

・トランプ政権によるベネズエラ軍事侵攻、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのパレスチナ人ジェノサイドなどの事態は、労働者市民の意思ではなく権力者の利害のためだ。あらゆる戦争に反対する労働者階級の連帯の輪を国内はもとより国際的に一層押し広げていこう。

・診断書強要行政訴訟で団交開催拒否は不当労働行為という完全勝利判決を勝ちとった。会社の団体交渉拒否をひっくり返す闘いを強化していく。

・リニア東京～名古屋間の総工費は11兆円に増大し、開業は35年以降になった。即時中止するべき。市民団体と連帯して闘っていこう。

・JR総連による不当なJR東海労除名決定に抗議し、JR総連と決別会社と同じ立場に転落した。関西サービックや介護施設の仲間の加入を実現し本体でも関連会社でもJR東海労とともに闘うという仲間が拡大している。JRだけでなく様々な職場で闘いをつくりだし組織拡大を実現しよう。



■本部淵上委員長

・国会解散の話が流れ株高になっているが、われわれの生活とは関係ない。生活苦が増えるだけだ。30年前と今を比較すると、物価は二倍三倍。労働者の年収だけが下がっている。税金も増えている。

・そういう状況でJ R東海労はアクセス誌インタビュー、診断書行政裁判勝利、治安フォーラムやプレイボーイのリニア記事など、J R総連と決別して一年にも満たないが注目されている。10.15集会でも連帯の輪が広がった。自信を持とう。

・ひがし労の地域での拡大の取り組みや、非正規で労組を結成リストを実現した闘いに学ぼう。

・J R東海労も介護労働者の加盟で一般労組となった。家族、他企業の労働者などに、J R東海労との連帯、加入を呼びかけていこう。春闘で連帯した闘いをつくろう。



■地本OB会田中会長

・理論から現実を解釈すべきではない。まず現実を知ることだ。意見が違うから排除するのではなく現実をわかってもらうことが必要。民間労組の仲間の綱領はすばらしい。「労働者階級」「国際連帯」ずっと聞かなかった言葉だ。松崎さんも日本の労働運動、世界の労働運動を考えて闘ってきた。それに従うだけで自分で考えなかった。その結果が今の（J R総連）状況だ。J R総連の指導に従わないからとJ R東海労は除名になった。ではJ R総連はどういう指導をしてきたのか。不当解雇を支援しないというまでに変質した。その背後には会社がある。職場から労働者の未来をつくる闘いをつくろう。



■非正規雇用でも労組を結成してストライキを闘った民間会社の労組の仲間から「到達点と課題」について報告がありました

・正社員は店長・副店長だけであとは全員アルバイト。正社員は月給制でボーナスもでるがアルバイトは時給である。

・シフトや勤務時間が不安定。人手不足と作業時間の短縮を競争させるなどで労働強化が進んでいる。正社員は休憩も取れず長時間労働を強いられている。他職場より成果を上げれば給料が上がるかもという職場主義に陥らないこと。

・備品の改善や時給の改善などが実現し、要求がすべて実現していなくても組合の存在は認知されてきている。

・シフト制のため話す機会をつくるのが大変。退職する人が多いので継続して話せない。

・アルバイトだという意識があって引いてしまうことがあった。もっと積極的に職場の問題や組合の運動の成果を広げていかなければと思う。

・仕事で信頼されることは大事だが、組合の成果をしっかりと伝えて労働組合の〇〇と認識してもらおうことが大切だ。

・決定することは大事だが、みんなで相談していくことが大切だ。

・参政党のスパイ防止法は、労働組合運動の担い手を「スパイだ」として排除していくことが本心だ。労働運動の拠点を守り春闘を闘う。